



令和2年度第2回全旅連理事会開催	1	全旅連委員会開催	5
旅政連「全国の集い」・旅政連支部長会議開催	2	省庁便り	6
「第25回全旅連青年部全国大会 in 東京」開催	3	全旅連会議開催／経営ワンポイントアドバイス	7
「第五回旅館甲子園」を東京ビッグサイトで開催	4	全旅連協定商社会名簿	8

## 令和2年度第2回全旅連理事会開催 令和3年度全旅連通常総会提出議案を承認

### 次期会長予定者に多田現会長(石川県理事長)を選出 事業計画に「アフターコロナへの対応に関する研究」も

全旅連は2月19日、東京・千代田区の都道府県会館で、令和2年度第2回理事会を開催し、厚生労働省・生活衛生課による新型コロナウイルス感染症対策についての講話のあと、次期会長予定者に多田現会長を選出したほか、令和3年度通常総会提出議案等を承認した。また、令和3年度全国旅館政治連盟支部長会議(2頁に掲載)を開催し、細田観議連会長による時局講演のあと、本年度の活動方針等を承認した。



次期会長予定者に選出されあいさつする多田会長

厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生課の成松英範課長は、新型コロナウイルス感染症対策での生活衛生関係営業者への資金繰り支援(コロナ感染症特別貸付等)について語ったほか、コロナ感染症対策での旅館業法第5条を通じた今後の対応＝詳細は別掲＝について述べた。

議事では、令和3年度の通常総会提出議案(事業計画、会費賦課金、収支予算の各案)、役員選考基準案、理事会並びに通常総会の開催日時(令和3年6月15日)・場所(東京・千代田区の都道府県会館)、令和3年度全国大会(福島県)の延期(延期後の開催日は調整中)、令和4年度第100回全旅連全国大会の開催日時・場所(令和4年6月15日、全国大会式典・懇親会・展示会を東京で開催)、全旅連会長選出に関する内規改定の各議案を承認した。

事業計画の新たな取組項目には、「全旅連組織の強化」では「ブロック活動の推進と組織活動の緊密化」「新型コロナウイルス感染症を契機とした生活衛生環境の立て直し」、そして「調査、研究、情報活動の展開」では「地方創生事業の推進による観光資源の掘り起こしと情報発信システムの構築による中小宿泊施設の活性化」「実態を踏まえた労働・雇用問題の研究と対応」「宿泊業におけるウィズコロナ・アフターコロナへの対応につい



感染症防止対策により都道府県理事長のみの出席となった理事会。下は、左からコロナ感染症対策について講話する成松課長、ウィズコロナ研究会の大木座長、経営の課題について語る羽室アドバイザー、全国大会延期を報告する小井戸福島県理事長、青年部全国大会について報告する鈴木部長とあいさつする次期部長予定者の星氏。選管の富井監事、仮議長の坂口和歌山県理事長

**【新型コロナウイルス感染症における旅館業法第5条について】**成松氏は令和3年2月12日に厚生労働省が出した「旅館等の宿泊施設における新型コロナウイルス感染症への対応について(改正)」とした事務連絡について述べ、「これは『宿泊客がチェックインする際に、検温を行い発熱や咳・咽頭痛の症状がある場合には、本人の同意を得た上で、宿泊施設近隣の医療機関や受診・相談センターに連絡し、その指示に従うこととする。(発熱の目安は、37.5度以上の熱又は37.5度未満であっても平熱を超えることが明らかな場合とする)』『発熱や咳・咽頭痛の症状がある宿泊客については、客室(他の宿泊客と区分して待機する部屋がある場合は、その部屋)内で待機し、外に出ないことなど要請すること』としているが、当該指示・要請に宿泊客が従わなかった場合は、旅館業における衛生等管理要領で規定する『他の宿泊者に著しい迷惑を及ぼす言動』又は『合理的な範囲を超える負担』として旅館業法第5条第2号に該当するものである」と説明し、「宿泊拒否」の解釈を示した。

ての研究」「旅館業法第5条改正に向けての研究」「風営法等の旅館業に係わる各種法規制の見直しと研究」「固定資産税等軽減に向けた政策立案」などを挙げている。

## 旅政連「全国の集い」開催

### 細田自民党観議連会長が時局講演 「自主的抗原検査の優遇制度」について

旅政連支部長会議では、「全国の集い」として細田観議連会長による「自主的抗原検査の優遇制度について」を演題とした時局講演が行われた。



講演する細田氏

細田氏は「コロナの感染拡大防止策の最大の問題点は、いつまでも観光、飲食、催事の縮小を強制している現状では、経済的損失は回復不能に近い大きさになることが懸念されることだ」とし、「こうした危機を回避するためには官主導ではなく、民主導で対策をすすめていくべきである」と述べ、「時間がかかり医療関係者が取り扱う必要のあるPCR検査のあり方は維持しつつも、民間に大量に供給されつつある抗原検査キットを活用すべきである」と提言し、次のように述べた。

◇例えば民間航空会社、長距離鉄道、長距離バス、旅館・ホテルにおいては、乗客や宿泊客に段階的に拡大しながら抗原検査を行う。抗原検査結果が陰性であった者には一定の恩典（例：運賃の5000円キャッシュバック、ポイントの賦与、宿泊料金の割引

等）を与える。定着する場合にはGo Toと結びつけることも視野に入れる。まず容易に実施しうるのは航空、海運、旅館・ホテルであろう。

◇他方実施主体（運輸、宿泊、飲食、催事）についてもすべての接客要員に抗原検査を行い、3～5日の有効期限内で陰性マークをつけさせる。

◇抗原検査キットはすでに民間薬局でも販売が始まっており、生産体制を充実させるために国費を投入すべきである。すでに米国では単価約1ドルで行われているところがある。

◇陰性であった旅行者等については民間企業による陰性証明書（検査日、検査主体）を手交する。証明書携帯者には旅行飲食等関係者が料金割引等優遇する措置をとる（一定の期間3～5日）。

◇観光、旅行、飲食関連は一致して関係官庁、医師会、経済団体等に働きかけ、一日も早く民間主導の抗原検査体制の確立を急ぐべきである。

◇発症者と接触者のPCR検査のみを毎日発表し、すべての人の行動規制をするという牛刀を継続するのみでは、真の問題解決にはつながらない。民間の自助努力をお願いすることが必要である。

（参考：自由民主党観光産業振興議員連盟では9月に提言を行い、加藤、西村、田村、赤羽、橋本、梶山の各大臣に直接要請を行ってきた）。

## 令和3年度旅政連支部長会議開催

【旅政連活動方針】令和3年度旅政連支部長会議では、令和2年度活動報告及び収支報告、令和2年度監査報告、令和3年度活動方針案並びにパーティー券購入案及び収支予算案を承認した。

令和3年度活動方針（令和3年1月1日～12月31日）では、新規要望として①新型コロナウイルス感染症により激減した訪日外国人旅行者及び国内旅行者について関係議員及び関係省庁と連携を図り、宿泊需要の拡大を諮る。②新型コロナウイルス感染症の収束後に向けて、国内旅行需要喚起策について関係議員及び関係省庁に要望を図る。③宿泊施設は、不特定多数の顧客に対して、建物・施設を供給しその使用対価を主な収入とする装置産業であり、設備・施設の劣化が短期間で進むことから、実態に即した固定資産税の軽減を期す。④自民党観光産業振興議員連盟と全国旅館政治連盟により現行の旅館業法等の規制を見直し、現状に即した法律改正の研究を図る。⑤2020東京オリンピック・パラリンピック開催を期し、厳格な感染対策を実施し国内の観客の誘客と国内旅行推進を図るため自民党観光産業振興議員連盟と連携して宿泊産業の振興を期す。一の5項目が承認された。

報告事項では、ウィズコロナ調査研究会（大木正治座長）から、3月上旬に新たに金融、経営問題等についての調査を行い、今後の政策、要望の立案、提言につなげていくことが述べられ、羽室アドバイザーからこの調査についての概要が説明された。

また、コロナ禍における全国の旅館・ホテルが経営課題を抱えているが、ITの活用を通じて、最適な専門家を見つけ相談できる機能を有するWebサービス「YOROZUYA JAPAN」についての説明が行われた。対応可能な相談テーマとしては、資金繰り、事業継承・承継、人材・労務、広告・集客、IT戦略実行などとされ、多くの専門家、士業が登録され、課題を広くサポートできる。サービス提供の開始は今春を予定している。

議事の終了後に行われた次期会長予定者信任については、選挙管理委員会の富井監事が「令和2年11月30日までに多田計介氏（現会長・石川県組合理事長）1名より立候補届出があり、選挙管理委員会において審査の結果、これを受理した」と報告を行ったあと、坂口和歌山県理事長が仮議長を務め、拍手により多田氏が次期会長予定者に選出された。多田氏は「新型コロナの収束への課題、そしてまた、業界が抱える多くの課題に対して全力を挙げて取り組んでいきたい」と述べ、決意を新たにされた。

# 「第25回全旅連青年部全国大会 in 東京」開催 Challenge for the future ~より良いかたちを次代へ~

ポストコロナを見据え新たに踏み出す第一歩  
「褒賞」のグランプリは愛知県青年部が獲得



「業界が思いをひとつにする特別な1日に」と述べる鈴木部長



握手する鈴木部長(左)と次期部長予定者の星副部長

壇上の副部長ら役員のみなさん

全旅連青年部(鈴木治彦部長)は2月17日、東京ビッグサイト(東京・江東区)で第25回全国大会と第五回旅館甲子園を開催した。今回は青年部員ら約250人が出席し、新型コロナウイルス感染症対策として、インターネットによるライブ配信も行われた。

「全国大会は『国際ホテル・レストラン・ショー』と同時に開催し、沢山の情報を持ち帰ってもらえる大会となった」とした山本享平大会実行委員長の開会の言葉に続いて、鈴木部長があいさつし、「コロナ禍のなか全国大会については何度も何度も開催するか中止すべきか考えに考えたが、青年部活動が地域経済を活性化させ、社会から必要不可欠とされる存在になれるよう、我々は今まで以上に活動を続けなくてはならないという思い、また、業界が思いを一つに、新たにリスタートする日をあえて設ける必要があるとの考えから開催していくことを決断した。今日という一日を、業界が新たな一歩を踏み出す特別な一日にしたい」と述べ、ポスト・コロナを見据えた大切な全国大会であることを強調した。

来賓の祝辞では、多田会長は青年部の持つ対外的交渉力の強さについて、また、永山第18代青年部長は、「自助・共助・公助」の3助の言葉を挙げながら、青年部の持つ共助の力の強さについて語り、今後の青年部活動のさらなる充実と発展に期待を寄せた。また、会場の大スクリーンを通じて、菅義偉内閣総理大臣の「観光は地方行政の大きな柱。日本にはまだまだ大きな可能性がある。皆さまが日本の観光の未来をしっかりと見据えて、希望を持って事業ができるよう全力で取り組みたい」としたビデオメッ



感染症対策を講じた会場には、大勢の部員が出席した。下は歴代部長のみなさん



左から来賓祝辞であいさつする多田会長、永山第18代部長、そして映像を通してあいさつする菅首相



「褒賞でグランプリを獲得した愛知県青年部のみなさん。右端は川野審査委員長

セージが紹介された。

続いて、第25代青年部長予定者に選出された星重副部長(福島県会津湯野上温泉・藤龍館)が紹介され、星氏は「『観光を日本の基幹産業としてリトライ』をスローガンに掲げ、一致団結して邁進したい」と強い意気込みを示した。

各ブロック・都道府県・各地域青年部の積極果敢な青年部活動に貢献した功績を称える褒賞制度の表彰式も実施した。今回は30件がエントリーした。

グランプリは愛知県青年部の「愛旅連青年部オリジナル日本酒プロジェクト『旅先でしか飲めぬ酒(旅×酒)』」が獲得、また、同青年部は合わせて日本能率協会賞を受賞した。準グランプリには大分県青年部の「新型コロナウイルス・および感染症に関わる大分県旅館ホテル生活衛生同業組合統一の対応シート・マニュアル等作成事業」が選ばれた。

また、優秀賞の長崎県青年部、愛知県豊田支部青年部、熊本県黒川支部青年部、新潟県妙高高原温泉郷青年部、山形県小野川支部青年部、全旅連青年部OB会賞の栃木県青年部、そして、柴田書店賞：山形県青年部、トラベルニュース社賞：滋賀県尾上温泉旅館組合青年部、旅行新聞新社賞：福島県飯坂温泉支部、観光経済新聞社賞：山形県・宮城県・福島県青年部のマスコミ各社賞の受賞者も発表され、大きな拍手が送られた。

## 「第五回旅館甲子園」を東京ビッグサイトで開催 1500施設からの頂点目指して競うプレゼン大会

グランプリは3施設という異例の受賞  
旅館の「新たな可能性」「地域への愛」「社員教育」への挑戦

全旅連青年部は2月17日、東京ビッグサイトで第五回旅館甲子園の決勝プレゼン大会を開催し、最高賞のグランプリをGLAMP ELEMENT（滋賀県米原市）、ホテル楊貴館（山口県・油谷湾温泉）、テラス御堂原（大分県・別府温泉）の全3施設が受賞し、異例の受賞となった。

今回は全1500社から117施設がエントリー。一次書類審査で15施設まで絞られ、その後、二次審査として歴代大会会長や業界の代表者による厳密な「書類審査」を行い、その二次審査を通過した3施設をファイナリストとして決定。3施設がビッグサイトの大舞台上で、自社の取組みや思いを伝えた。

「GLAMP ELEMENT（グランエレメント）」は、所有していたミニゴルフ場を改修し、新しい宿のスタイルとしてグランピング施設を開業した。池を中心に開放感があふれ、自然を感じられるくつろぎの滞在空間を、各部門のスタッフのサービスやアイデアによって宿泊客に提供している。「ホテル楊貴館」は、地域との繋がりを強め、地方の魅力を伝えるハブ拠点としての役割も担う。123基の赤い鳥居が並ぶ元乃隅神社のライトアップを図るなど地元貢献している。コロナ禍では、前向きな挑戦と、今できることを考えて取り組んでいる。「テラス御堂原」は、何よりもスタッフの育成に力を入れる宿。新入社員向けの関屋アカデミーと呼ばれる研修制度を設け、社員のスキルアップと定着化を図っている。林社長は「社員一人ひとりが大いに挑戦し、成長していく。私はそのパートナーとして歩いて行きます」と語る。

審査基準は「宿泊業で働く魅力」「経営理念」「おもてなしへの想い」「業界の地位向上」「お客、地域、日本を元気に」の5点。会場内の出席者による投票が行われたあと、大会会長の鈴木部長が3施設のグランプリ受賞を発表し、「旅館・ホテルが日本を元気にするという大会理念に本当にふさわしい大会となった。そして、グランプリを受賞した3施設からは、チャレンジすることの大切さをしっかりと心にとめることができた」と総評した。また、第20代全旅連青年部長の横山公大氏は「3施設による、『新たな旅館の可能性』、また、『地域密着型の旅館』、そして、『社員教育メソッドの推進』は、どれも個性の光る素晴らしいプレゼンテーションであった」と総括した。



ファイナリストの3施設が登壇したステージでグランプリの発表を行う大会会長鈴木部長



左=審査員のみなさん。上=6カ所に設けられた投票箱



右からグランエレメントを運営する奥伊吹観光光株代表取締役の草野丈太氏、油谷湾温泉ホテル楊貴館取締役の岡藤明史氏、テラス御堂原を運営する（株）関屋リゾート代表取締役の林太郎氏

### 分科会で「生産性向上」「ワーケーション」などで事例発表

全旅連青年部は2月18日、東京ビッグサイトのホテルス会場で全国大会の分科会＝写真＝を実施した。労働



生産性向上、ワーケーションなど業界における喫緊の課題をテーマとした。

【労務委員会】テーマ：「Withコロナにおける労働生産性向上の取り組みと事例①」＝withコロナ期は労働生産性を意識しながら、【増える作業】と【間引く作業】、【新しいサービス】と【廃止するサービス】の取捨選択が今後の重要ポイントとした上での取り組みが発表された。【流通・インバウンド委員会】テーマ：「地方創生におけるワーケーションの可能性とは～宿泊業界の未来が見える」＝なぜ政府はワーケーションを広めたい？今後の可能性って？活用事例を交えながら貸す側、使う側からのパネルディスカッション。【政策委員会】テーマ：「我々が進むべき観光業のニューノーマルとは？」＝我々宿泊業を含めた観光業が取るべき道とは？各界の代表が本音で語るパネルディスカッション。【労務委員会】テーマ：「Withコロナにおける労働生産性向上の取り組みと事例②」。

## 全旅連ウィズコロナ調査研究会

ウィズコロナ調査研究会(大木正治座長)は、3月5日会議を開催した。会議では、国の新型コロナ対策各種支援制度や、経営課題に対して最適な専門家を見つけることができるWebマッチングサービスを提供する「YOROZUYA JAPAN」の内容について確認を行った。次に、2月24日から緊急事態宣言終了直前の3月19日まで実施した緊急Webアンケートによる現状調査(回答数:1013件)の結果報告を行った。その概要は、2021年1月から3月にかけては前回から引き続き厳しい状況。4月から6月の売上予測については幾分改善するという期待感がみえるが、これはGoToトラベル再開次第という考えもみえる。各自治体

による観光振興策は、実施・予定があるの回答が6割となったが、施設が所在する



自治体の観光振興策をよく情報収集することで有効活用につなげたいとしたなど。

ポスト・コロナ期の宿づくりについても議論がされ、従前の安心、安全に加えて、心身の健康、医療との連携、ワーケーションなど新しい生活様式に関連していく考えがあげられた。

## シルバースター部会常任委員会



全旅連シルバースター部会(中村実彦部会長)は、3月17日、全国旅館会館4階会議室にて常任委員会を開催し、令和2年度シル

バースターキャンペーンアンケートの集計結果(4637件)と「従業員の衛生水準等向上による消費者保護の推進」(令和2年度厚生労働省生活衛生関係営業対策事業)

として作成した英語、中国語、ベトナム語、日本語で書かれた旅館・ホテルで働く外国人従業員向けパンフレット「取り組もう きほんの衛生」についてそれぞれ報告。また、令和3年度部会事業計画案について協議した。なお、完成した旅館・ホテルで働く外国人従業員向けパンフレットは3月中に全組合員施設に配布され、その内容を説明した動画は「宿ネット」組合員専用ページでも視聴できる。



パンフレット カラーA4判/8頁



「きほんの衛生」動画、パンフレット表紙にQRコードを掲載

## 人材不足対策・職場環境改善対策委員会



3月18日、本年度最後となる第3回人材不足対策・職場環境改善対策委員会(工藤哲夫委員長)を全委員出席(一部Zoom参加あり)のもと開催した。委員会では、令和2年度の生活衛生関係営業対策事業費補助金で作成した「外国人材雇用の手引き」(外国人材の受入れに向けたガイダンス第二弾)の内容について確認、その後、各委員から2年間の活動を振り返っての感想が述べられた後、令和3年度の活動内容について意見を交換した。

なお、「外国人材雇用の手引き」については、3月中に各都道府県組合を通じて、全組合員に配布される。



ガイダンス カラーA4判/16頁

2020年度生活衛生関係営業振興指針の一部改正について

生活衛生関係16業種、13の指針が策定されていますが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関する記述(影響及び衛生対策等)など3月18日(木)に告示が行われ、一部改正がされました。改正の内容等については、下記厚生労働省HPをご参照ください。

厚生労働省HP

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_17197.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_17197.html)

経済センサス

総務省・経済産業省  
からのお知らせ

活動調査

- 令和3年経済センサス-活動調査を実施します。
- 本年6月1日時点における日本経済の「今」を知るため、全国すべての事業所・企業を対象に行う国の重要な調査です。
- 調査員の訪問または郵送により調査票が配布され、事業内容や従業員数、売上(収入)金額や費用などの経理項目についてご回答いただきます。
- 調査結果は、国・地方公共団体における行政施策の立案や、民間企業における経営計画の策定など、社会経済の発展を支える基礎資料として幅広く活用されます。
- 「統計法」に基づき義務がありますので、調査票が届きましたらご回答をお願いいたします。



ぜひ  
インターネットで  
ご回答ください!



<https://www.e-census2021.go.jp/>

売上の減少した中小事業者に対する一時支援金の支給

第3次補正予算において、売上の減少した中小事業者に対する一時支援金の支給が創設されました。

一時支援金については、緊急事態宣言の対象外となっている地域に所在する事業者であっても要件を満たす場合には本制度による支援を受けられる可能性があります。

(1) 対象

- 緊急事態宣言に伴う飲食店の時短営業や不要不急の外出・移動の自粛により影響を受け、売上げが減少した中堅・中小事業者。
- ①と②を満たす事業者は、業種や所在地を問わず給付対象となり得ます。
- ①緊急事態宣言に伴う飲食店時短営業または外出自粛等の影響を受けていること\*
- ②2019年比または2020年比で、2021年の1月、2月または3月の売上が50%以上減少
- \*地方公共団体から時短営業の要請を受けた、協力金の支給対象の飲食店は給付対象外など、給付対象外の要件もあります。詳しくは下記一時支援金HPよりご参照いただけます。

(2) 支給額

法人は60万円以内、個人事業者等は30万円以内

(3) 申請手続き

申請期間：2021年3月8日(月)～5月31日(月)  
オンラインで申請することができます。オンライン申請が困難な方におかれては、申請サポート会場をご利用ください。会場一覧は下記一時支援金事務局HPにてご確認いただけます。

問い合わせ等は、下記一時支援金HPよりご参照のうえご確認ください。

一時支援金事務局HP ▶ URL : <https://ichijishienkin.go.jp/>

お問い合わせ・相談窓口・申請サポート会場電話予約窓口

▶ TEL.0120-211-240 TEL.03-6629-0479 8:30～19:00(土日、祝日含む全日対応)

宿の集客パートナーから  
経営パートナーへ

株式会社宿泊予約経営研究所は、株式会社宿研(やどけん)に社名変更いたしました。さらなるサービス向上に向け、気持ちを一新して取り組んでまいります。これからも変わらぬご愛顧のほど、心よりよろしくお願ひ申し上げます。



株式会社宿研

〒220-8120 神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-2-1 横浜ランドマークタワー 20F  
TEL:045-227-6505 <https://www.yadoken.net/> 代表取締役社長 矢津彦彦

宿泊施設の、宿泊施設による、宿泊施設のための

予約・販売管理システム

TL-LinkIn

TL-リンカーン

旅行会社とネット販売を一元管理!

旅行会社とネット販売の  
予約・販売・残室管理を1つに集約

ASP化により  
複数の担当者の同時利用が可能

PMSへの入力・修正の負荷を、  
カスタマイズ機能により大幅に削減

統計実績データをボタン1つで  
集計・分析、営業力が強化

ユーザー支援強化中!

2021年2月15日、画面デザインを  
リニューアルし、より使いやすくなりました!

- ユーザーのお声をもとに、毎月機能増強を行っています!
- 操作フォローや勉強会を実施、導入後も支援します!

お申込み・  
お問合せは

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-12-7  
電話: 03-6835-8410(代) FAX: 03-5476-8898

<http://www.seanuts.co.jp/> シーナッツ で 検索

# 全旅連会議開催

【3月】

5日(金)

●全旅連ウィズコロナ調査研究会

11日(木)

●全旅連女性経営者の会(JKK)役員会

14日(日)

●全旅連総務会

於：ホテル小柳(新潟県湯田上温泉)

17日(水)

●全旅連シルバースター部会常任委員会

18日(木)

●全旅連人材不足対策・職場環境改善対策委員会

●全旅連青年部常任理事会

●全旅連青年部次期常任理事会

於：ホテルニューイタヤ(栃木県宇都宮市)

## 第99回全旅連全国大会 in 福島開催延期のお知らせ

6月16日(水)に開催を予定いたしておりました第99回全旅連全国大会 in 福島ですが、開催地となる福島県組合にて震災後10年が経った福島県の姿、魅力を、全国大会参加者皆様に存分に体験いただくことを念頭に置き、慎重に検討を行った結果、現状の新型コロナウイルス感染の拡大状況から、大会参加予定者の感染リスクなどを憂慮し、全国大会を延期することとなりました。開催延期の日程、期日等については、決定後、ご案内をいたします。

## 令和3年度全旅連理事会および通常総会について

令和3年度理事会並びに通常総会開催日時・場所は、令和3年6月15日に福島県内を開催地としていましたが、東京・千代田区の都道府県会館に変更して開催します。

## 日本の観光再生宣言

公益社団法人日本観光振興協会では、大きな打撃を受けた観光業界の再生に向けて、感染症の予防対策に取り組み、新たな観光の在り方を追求することや、デジタル化の推進で生産性を高めること、観光施策を通じて持続可能な地域社会を実現することを掲げた「日本の観光再生宣言」を取り纏めました。宣言については下記の当協会HPにてご参照いただけます。

URL:<https://www.nihon-kankou.or.jp/home/userfiles/files/autoupload/210301saiseisengenrelease.pdf>

## 経営ワンポイントアドバイス

### 「まんすりー」経営改善講座

渡邊 清一郎

#### 「明けない夜はない」

緊急事態宣言はひとまず終了した。しかし、昨春から続くウイルス騒動の先行きが不透明なことに変わりはない。世の中を見渡すと、会社や個人の好不調は様々だが、飲食業界・観光業界・人を運ぶ運輸業界が狙い撃ちにされ、不況にあえいでいる感はぬぐえない。

私の周りにも必死に努力している経営者は数多く存在する。奮闘中の経営者に「これはやってはだめですよ」と必ず申し上げることがある。①私利私欲をめぐえず個人財産・経営権などに過剰にこだわる。②経営に神仏祈願占いなどを取り入れる。③非常事態との認識がなくこの期に及んで財務データの把握などを他人任せにする。④会社を自分の所有物だと思っている。⑤自社の不調を環境のせいにする。⑥債務が減ればうまくいっている。⑦自分に甘くそれ以外に厳しい。

このことに加えて、「三つのことをかく覚悟を持ってください。汗をかく。恥をかく。義理人情をかく」とお伝えもする。這い上がるその日まで早朝から深夜まで先頭に立って汗をかく。債権者や取引業者、従業員にまで迷惑をかけるかもしれない。その恥を忍んでこそ、面目を失ってこそ本当の力が湧いてくる。体裁にこだわらず、後ろ指をさされることを恐れず事業の継続と雇用の確保に邁進する。

危機に瀕しながらも勇気をもって己を捨てて見事に這い上がってきた経営者を何人も見てきた。明けない夜はない。

質問・相談は

sero-1117@giga.ocn.ne.jp 携帯(090-3322-7208)

または、全旅連事務局(03-3263-4428)までどうぞ。

## 安心・真心・優しさで選ばれる宿になりませんか

シルバースター登録制度は、急速に進んでいる日本の高齢化社会に対応するため、業界から自主的に起こった制度です。年々、高齢者人口が増加し、高齢者の宿泊施設へのニーズが高まることは当然であり、全旅連ではそうしたニーズに十分対応できる旅館・ホテルを数多く整備する事が業界全体の発展につながると考えています。

シルバースター登録制度がスタートし平成5年9月の第一号店誕生から、今では北海道から沖縄まで全国の施設が登録を受け、「優しい心」を示すマークを掲げています。

全旅連では、シルバースター登録制度を広く内外への周知を図るとともに、厚生労働省の協力を受けながら推進しています。

ぜひシルバースターにご登録いただき、ハード・ソフト両面の整備と充足にお役立てください。

◎しおりは、各都道府県旅館ホテル生活衛生同業組合までご請求ください。

◎お問い合わせは、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会まで。



### 全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目5番5号全国旅館会館4階  
tel.03-3263-4428 fax.03-3263-9789 URL:<http://www.yadonet.ne.jp/>

全旅連協定商社会名簿

協 賛	(株) トランスネット	ホテル旅館向け各種インターネットソリューション販売	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-3-1 三恵ビル8F 営業企画部 廣重 隆	TEL 03-6891-7200 FAX 03-6686-1039
	ソニー生命保険(株)	生命保険コンサルティング他	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル31F 東京中央LPC第3支社部長 中野秀嗣	TEL 03-4334-5203 FAX 03-4334-5213
	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	損害保険	〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿1-28-1 マーケット開発部 市場開発室 経営支援センター 担当部長 渡辺 恵一郎	TEL 03-5789-6354 FAX 03-5789-6449
	(株) 丸八真綿	丸八真綿寝具販売他	〒321-0982 栃木県宇都宮市御幸ヶ原町81-7 ホテル旅館事業部 副課長 玉木信安	TEL 028-663-6166 FAX 028-663-6238
	(株) リクルートライフスタイル	旅行雑誌じゃらん、じゃらんnet等	〒100-6640 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー 旅行営業統括部 営業推進部 営業企画グループ 酒井宏明	TEL 03-6835-6240 FAX 03-6834-8784
	(株) セラミックテクノロジー	客室木部白木再生、各種浴場等の各種再生	〒414-0055 静岡県伊東市岡1274-9 松坂博行	TEL 0557-48-6026 FAX 0557-38-6557
	ミサワホーム(株)	旅館ホテル客室等のリフォーム・新築	〒163-0833 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル 法人営業部 法人推進課 早川唯克	TEL 03-3349-8044 FAX 03-4570-5668
	(株) 第一興商	カラオケ機器(DAM)音響・映像関連機器	〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26 営業統括本部 特販営業部 営業2課 エリアマネージャー 関口雅弘	TEL 03-3280-6821 FAX 03-3280-0862
	(株) コジマ	家電製品全般	〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-28-13 池袋西口共同ビル8階 営業本部営業部 法人営業室 主任 原 智一	TEL 03-6907-3116 FAX 03-6907-2996
	東京海上日動火災保険(株)	旅館賠償責任保険	〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-16 旅行業営業部 営業第一課 副主任 佐々木可菜	TEL 03-5537-3491 FAX 03-5537-3471
	AIG損害保険(株)	組合員向各種損害保険	〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル6F 中小企業セグメント営業部 アソシエーション開発推進ユニット 大平美菜子	TEL 03-6848-8835 FAX 03-6689-2025
	楽天(株)	予約サイト楽天トラベル等	〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-14-1 楽天クリムゾンハウス トラベル事業 国内営業部 ジェネラルマネージャー 永富文彦	TEL 050-5817-3369 FAX 03-6670-5253
	(株) 宿泊予約経営研究所	web集客コンサルティング	〒220-8120 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー20F 新規営業本部 営業推進室 統括マネージャー 北園勇人	TEL 045-227-6505 FAX 045-227-6507
	(株) シーナッツ	予約・販売管理システムTLーリンカーン	〒108-0023 東京都港区芝浦3-12-7 住友不動産田町ビル4階 システムソリューション本部 営業G 宮崎恵利香	TEL 03-6835-8420 FAX 03-5476-8898
	(株) JTB(るるぶトラベル)	宿泊予約サイトるるぶトラベル	〒140-8602 東京都品川区東品川2-3-11 JTBビル15階 Web販売部 戦略担当部長 伊藤 清	TEL 03-5796-5666 FAX 03-5796-5986
	ヤフー(株)	「Yahoo!トラベル」による集客支援提案	〒102-8282 東京都千代田区紀尾井町1-3 東京ガーデンテラス紀尾井町 紀尾井タワー 予約統括本部 営業本部 トラベル営業部 森 浩一	TEL 03-6898-3466 FAX 03-6685-0080
	(株) ネクシーズ	LED照明、業務用冷蔵庫、空調などの省エネ素材のレンタル事業	〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町20-4 ネクシーズスクエアビル 業務本部 営業企画課 佐々木龍	TEL 03-6415-1210 FAX 03-3770-2307
	(株) エス・ワイ・エス	自社HP予約エンジン「OPTIMA」宿泊料金比較サイト連携サービス「DRS」	〒107-0062 東京都港区南青山5-10-2 第2九曜ビル3F 営業部 若島直人	TEL 03-3486-1070 FAX 03-3486-1071
	(株) Ctrip International Travel Japan	中国インバウンド予約サイト「Ctrip」	〒542-0085 大阪府大阪市中央区心斎橋筋2-4-9 戎橋ビル9階 ホテル事業部 統括部長 有田壮志	TEL 06-6210-2367 FAX 06-6210-2369
	日本テクノ(株)	高圧電気設備保安管理・点検電気料金削減コンサルタント	〒163-0651 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル51階 営業推進部 MC・東日本営業課 係長 相川 淳	TEL 03-5909-5389 FAX 03-5909-5379
(株) パラダイムシフト	オールインワン業務支援ソフト「レップチェッカー」	〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-3-6 パラダイムシフトビル 営業部 部長 古瀬路里	TEL 03-5825-9970 FAX 03-5825-9971	
住友林業(株)	旅館・ホテルリフォーム新築、造園	〒100-8270 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館 住宅・建築事業本部 市場開発部 副部長 細田譲二	TEL 03-3214-3860 FAX 03-3214-3861	
(株) ミツウロコヴェッセル	高圧電気、動力(低圧)電気、従量電灯電気の販売	〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン 電力・都市ガス営業部 課長 石井万正	TEL 03-3275-6316 FAX 03-3275-6354	
(株) かんざし	OTAプラン作成等一括管理「かんざしクラウド」OTAくちこみ一括管理「くちこみクラウド」	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-6 丸元ビル 3F セールス本部 宿泊セールスチーム チーフマネージャー 神山真一郎	TEL 03-6261-7447 FAX 03-6261-7448	
(株) 三洋	寝具(掛け布団・マットレス)のレンタル	〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-8-10 ORIX恵比寿西ビル3F コンフォートグリーン事業部 営業主任 山本宜央	TEL 03-5459-2330 FAX 03-5459-2340	
(株) ショウエイ	浴場用ろ過装置と省エネシステムおよび見える化	〒212-0032 神奈川県川崎市幸区新川崎2-6 営業1課 課長 長谷川秀法	TEL 044-589-1601 FAX 044-589-1602	
大建工業(株)	機械すきと紙材の畳	〒101-8950 東京都千代田区外神田3-12-8 住友不動産秋葉原ビル 畳材部 得永昭弘	TEL 03-6271-7791 FAX 03-5296-4064	
HRソリューションズ(株)	求人情報掲載サイト「旅館ホテルでおしごと.net」	〒103-0023 東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング10F 企画統括室 藤本英樹	TEL 03-3548-8212 FAX 03-3548-8864	
(株) ダイブ	旅館・ホテル向け人材サービス「リゾートバイトダイブ」	〒160-0022 東京都新宿区新宿2-8-1 新宿セブンビル10F 取締役 山本拓嗣	TEL 03-6311-9833 FAX 03-5656-9459	
推 奨	三菱電機ビルテクノサービス(株)	エレベータ設備・管理	〒116-0002 東京都荒川区荒川7-19-1 首都圏第一支社 業務部 参事 正村宗一郎	TEL 03-3803-7319 FAX 03-3803-5234
	(株) フジ医療器	マッサージチェア	〒108-0023 東京都港区芝浦3-2-16 田町イーストビル1F 商経営部 企業担当ユニット 鈴木哲治	TEL 03-3769-6600 FAX 03-3769-6601